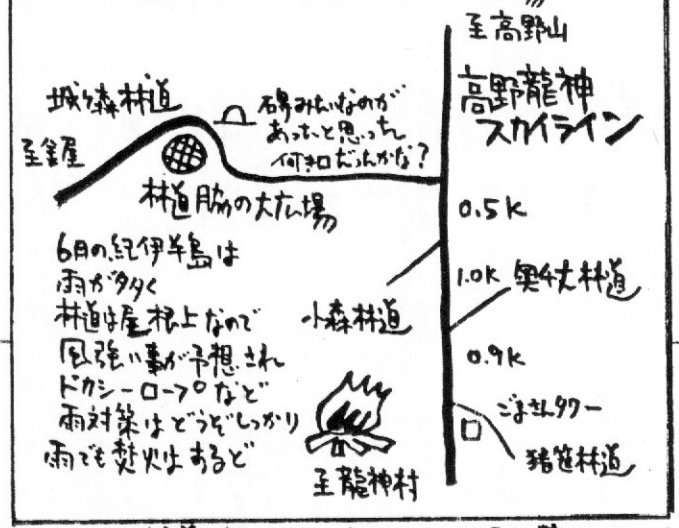
寺崎組新聞

野宿宴会地決定！

さあ組員でない人も組員の人もさあ

組員全員集合

第27回寺崎組野宿宴会地
1992年6月27日(土)正午～28日(日)正午まで
和歌山県龍神村城ケ森林道



▲何しろ林道脇だからおとなしく（日が暮れるまで）

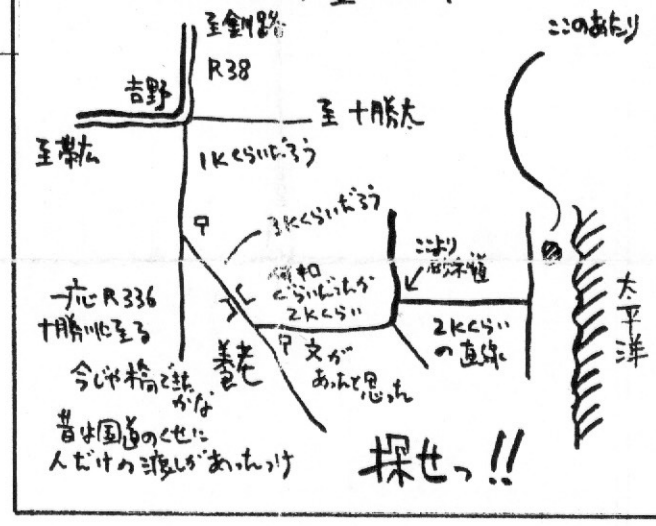
第26回寺崎組野宿宴会地
1992年5月3日12:00(正午)～5月4日(月)正午まで
栃木県栗山村 川俣桧枝岐林道
無砂谷林道分岐あたりの河原

▲不事に川原におりられるでもうか。

▼雪と寒さの覚悟はいるぞ

第29回寺崎組野宿宴会地　寺崎組恒例登山編
1992年12月19日(土)正午～20日(日)正午まで
山梨県塩山市大菩薩峠 より上った頂の旧峠 避難小屋のある所

第28回寺崎組野宿宴会地
1992年11月1日(日)正午～2日(月)正午まで
北海道十勝群浦幌町豊北海岸 の砂浜



▼感を頼りにどうぞ、どこだって野宿地だ

第30回寺崎組野宿宴会地　いつもの所
1993年2月27日(土)正午～28日(日)正午まで
山梨県韮崎市 滝川林道 今回は下のちです

▲北道走行の微則忘れるべからず

▼模識少なく分岐多し野宿気をおとし分けて

第31回寺崎組野宿宴会地
1993年3月20日(土)正午～21日(日)正午まで
九州は熊本県菊池郡旭志村 鞠麻野営場

寺崎組とは

寺崎組は正しい野宿の仕方、正しい旅の楽しみ方、ありかたを末長く世に伝えるが目的であります。

寺崎組野宿宴会は、寺崎組の組員になりたいという野宿者・旅人を募り組員としてふさわしいかどうかを判断するのが目的です。晴れて組員となった人は寺崎組の目的である「本当の旅のあり方を人に伝える」という使命を同時に担います。組員としてふさわしいかどうかは、旅への取組み方・熱意・性格などが重要であり旅の経験は問いません。

参加料一万円です。多くの人達に来てほしいのですがあまり多いと対応しきれません。安い参加料で多くの人を集めるより、一万円というものに寺崎勉とただ一緒に野宿して酒を飲むというだけにその価値を認めてくれる人だけに集まって欲しいと考えたからです。物が氾濫し、物の価値が多様化している時代、有形の物ではなく無形の物に計り知れない価値を見出してくれたらと願っています。寺崎組を末長く続けて行く為の、そして本物の旅を伝えて行く為のお金ですのでよろしくお願いします。

野宿塾とは

野宿宴会を終え、寺崎組の組員として認められて始めて、寺崎勉と同行する野宿塾（林道走行・野宿）に参加する資格が得られたことになります。参加人数は三人以上十人以下、組員は組員が責任を持ち得る友人知人二人までを同行させることができます。参加料は、一人一日一泊（２４時間）一万円。組員が同行した人間は一泊後、組員とするかどうかを判断します。

寺崎組の掟

一、バイク・歩き・自転車・飛行機・電車バスの使用も可だが野宿地までの車での参加は認めない。
一、参加者はそれぞれの旅のスタイルで野宿できる装備を持参する。
一、基本的に一人旅のスタイルをとる事。よって食料・酒も持参する。
一、組員の適性に応じ旅を広く一般に知らしめる。例えばゴミの問題。ゴミを捨てないということを伝えるために、捨てる人に捨てるなと言うこともできるが、自分のゴミと他人のゴミを一緒に持ち帰って野宿地をきれいにして帰り、その後に来る人に好印象を与えるという地道な方法もある。良い印象を与えるという事は、ゴキブリ一匹いたら三十匹いると思えるのごとく、悪いライダーが一匹いればその他のライダーも悪い印象を持つのが一般的であり、ゴミを持って帰るライダーが一匹でもいれば少しづつそれが広がって行くのではないかと考えるからである。これを野宿者のゴキブリ効果と言う。

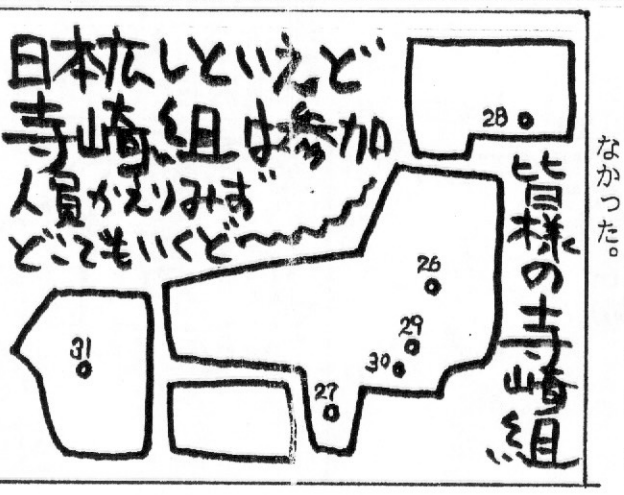
大魔人はゆく　坂戸康之著
旅は靴ずれ
日本列島徒歩縦断3300kmの旅
今春遂に発売
今度は本当である！

野宿天気予想

北海道
七月初旬　平成元年は寒かった、春秋用位のジャケットが必要。重ね着に重点をおくこと。
七月下旬　夏物で十分だが、雨が冷たいので中に着込むトレーナー等は、忘れずに。
十月中旬　関東の冬季装備で十分である。雨が多いので防水は厳重に。

九州
五月中旬　東日本が五月晴れの頃、九州では梅雨入りしているようで雨ばかりだった。気温差はそれほどでもない。

四国
十月下旬　平地は暖かいが山は寒いので、冬季装備が無難であろう。雨には一度も降られなかった。



「寺崎組新聞」ついに発刊

以前、寺崎組月例「組記」告知号らしき物を、若頭鈴木・丸本さんら数人の組員とこつこつ作ったのを思いだしたのは私だけだろうか。あの時は、別冊「モーターサイクリスト」に載った五十里湖の記事を縮小コピーし、旗頭・山添さんの「旗作り方教室」・糸頭竹内さんの「バイクで話そう」（アマチュア無線）をせっせと切り張りして作っていたが告知号だけで終わってしまうという失態だった。手紙等を送ってくれた組員の方々紙面からですが「どうもすみませんでした」

現在は、若頭平松が居ない間に、あの頃とは状況も少し変わり組会の小冊子は地下鉄・毎日新聞・大工・税務署・ホンダ庄司・ゲンさんら自らエッグに来て作成したり、今回からビデオの編集も沢海さんから組員自身が編集することになり二月の天竜はホンダ庄司・税務署・地下鉄が夜な夜な作ってくれました。

また、ごく内々ですが誰かの家で組員が集まり親睦会？とやらを行なったりと寺崎組が少しずつですが確実に目的をはっきりさせながら動いているようです。その中の一つとして寺崎組新聞がついに発刊したわけですがこれもまた大変な苦労があろうと思います。（実際、今回も年間計画表が無かったら大変だったと思う）だから皆さん「原稿は、塵も積もれば山となる」でよろしくお願いします。

第二号は必ず作るぞ

若頭平松

祝！阿南さん二世誕生

平成四年一月三日、さとみ夫人は、無事出産した。二千七百四十グラムの元気な男の子だ。

名前は真郷（まさと）君である。

今の心境を聞いたら

「バイクに乗せるー」の一言だった。

「これからは女房、子供をほったらかしてでも組会に出るぞ！」とも言っていた。

やくざな親父になるであろう。

スポーツの結果

サッカー

組長・風上からボールを蹴り沢海さんを走らせること数十メートル

沢海氏・風下でボールを蹴り風のあおりを受け1人サッカー数回

地下鉄・バイクに乗る格好でボールを追いかけること数百メートル

税金・張り切ってユニホームまで着たがカッコだけ、見せ場無し

若頭・ボールに好かれ、テント設営中何度も攻撃を受ける

キャンプ情報

国分寺エッグス

寺崎監督自らノックをするという熱の入った内容で仕上がりも順調。守備陣に難があるが、優勝候補間違い無し。また鬼コーチでもある、坂戸助監督の広島弁野次攻撃も強烈。強いて問題点をあげるとすれば、監督のクダラないダジャレであろう。

群馬ヨッパーライズ

昼間から酒を飲んでいるので問題外

上越デンチューズ

未だ冬眠中なのでこれまた問題外

横浜ツーシンズ

人数の割には動ける選手が少ないのがつらい。朝比奈選手兼監督兼コーチ兼親分の二世誕生の影響が見物だ。

伊勢ブラザーズ

高齢化が進んでおり若手の成長が鍵を握る。しかしヘッドコーチの上村兄が歌うことしか知らないので期待はできない。（チンチラカンチラ）

今夜の献立

天プラ

何と入っても油の温度と衣でしょう。油の温度はきちんと混ぜた衣を一たらし途中まで潜って上がってくればよいでしょう。物を入れると温度が下がるので常に注意してください。衣は水と小麦粉を1：1で混ぜれば後は何とかなるでしょう。衣は冷やしておいた方がよいのですが、野宿では余り気にしなくて良いでしょう。何でも揚げる、あとは野となれ山となれ！

大工の御用名は早くて粗雑
庄司工務店
でんわは臭い大工まで

沢海さんを痩せさせる会発足

第2回寺崎組スポーツ大会は、甲子園の六甲おろしのごとく遠州灘の風の吹き荒れる天竜マリンスタジアムで、2月8・9の両日行われた。集まりが悪く試合にならなかったのは非常に残念である。そんな中でも明るい話題が1つあった。それは沢海さんを痩せさせる会の発足である。酔っぱらい金子の禁酒、パンツ丸本の林道走行と同じ位の大事業であるが、ぜひとも組員一致協力し成し遂げたいと思う。（組長談・絶対無理だ！）

エッセイ

ちかてつについて

三年五組　ちかてつちかお

ぼくは、ちかてつです。

ちかてつは、えらいです。

どうしてえらいかというと、ちかのなかを、ずんずんはしるからです。

でも、ちかじゃなくて、そらのしたをはしることもあります。

ちか、てつっていうとちょっとへんだけど、まあ、よのなか、そんなことがあっても、いいよね、よのなかなんて、そんなもんさ、しんせいなんて、そんなもんさ、ってぼくはおもっています。

あさから、のんで、ひるも、のんで、やきんでも、のんで、やきんあけで、がんがんのんで、ぼくは、そんな、じんせいが、すきです。しんくが、どろどろだっていいじゃないか、だれか、もんく、あっか？！、ないだろう、へへんだ、どうだ、ざまあみろ、おれは、ちかてつだぞう～。うおうおう、ガタンゴガタンのちかてつでした。

Byパンツ丸本

自分流「雑誌再生術」

1．最近、雑誌について思う事。

・四年前に買った雑誌が飾りにしか過ぎない。

・買ったが、二回三回しか読んでいない。

・引越の時、捨てるにはおしいと思い、そのまま運んだが重かった。

・あらためて本を見直して「あぁ、そうなんだ」と感心した。

（考えによっては、無知ともいう）

・最近の雑誌は、広告が多い。

・温泉などの専門の記事だけ欲しい。

と、思うようになりそれなら自分専用の本を作ってしまえと「雑誌再生術」とやらを考案した次第です。とか偉そうに書いても昔からある「新聞のスクラップ・ブック」なんですよ、ようするに。

2．整理方法

次は、自分がやっている内容を紹介。

a）ジャンルをつける。

・二輪編　・野天風呂編

・野宿編……野食・野宿地・etc

（大・中・小分類と分ける）

b）付箋を利用する。

・日頃から、めぼしい記事をチェックしておくと整理が簡単になる。

c）自分流の整理番号を付けておく。

例）雑誌番号一発行年月日

・1：9311

（アウトライダー一九九三年一一月号）

d）バインダー式のファイルで整理

少し費用がかかるが差し替えが簡単

e）スプレーのりを使用する。

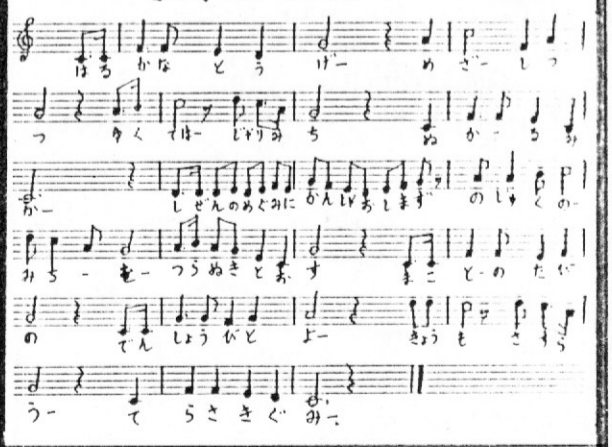
記事の張り替えができる。

以上の事をやるだけでなく、活用するのだと言うことをお忘れなく。

追伸：野天風呂情報がほしい、かな。

若頭平松

寺崎組 組歌



「寺崎組 組歌」

作詞 本田庄司
作曲 鈴木庄司

一　はるかな峠目指しつつ
行手はじゃり道ぬかるみか
自然の恵みに感謝おしまず
野宿の道をつらぬき通す
まことの旅の伝承人よ
今日もさすらう寺崎組

二　こごえる朝を迎えつつ
急げ儀式だ穴を掘れ
自然の掟に常にしたがい
野宿の道をつらぬき通す
バカとよびあうゆかいなやつら
そうささすらう寺崎組

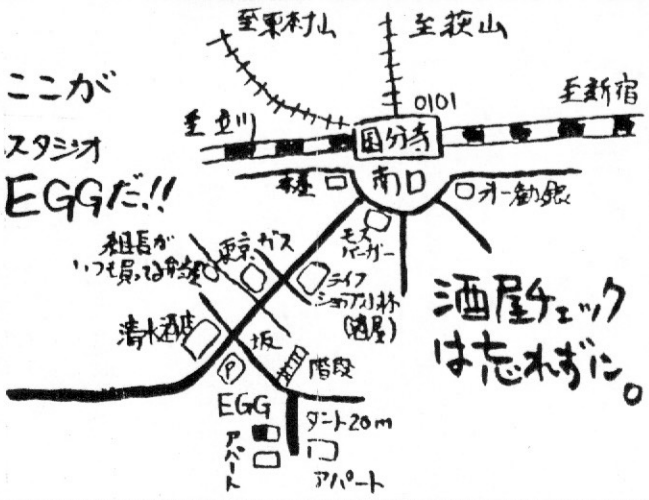
三　雨ふりやまぬ夜をむかえ
ドカシーテントのその下で
自然の猛威に敬意をはらい
野宿の道をつらぬき通す
焚火のもとに集まる仲間
我らさすらう寺崎組

「寺崎組新聞の定期購読のお知らせ」

この新聞は年六回の発刊を予定しております。以前もこの計画があり、購読料を頂いている人もいますが年間購読料として二千円以上です。お金を払いたいという人は何らかの方法（現金書留・郵便為替・普通封筒に入れてなど）で送っていただければ幸いです。この新聞を永続させるためにも原稿ともども新聞制作のお手伝いにも来ていただければなお幸いです。

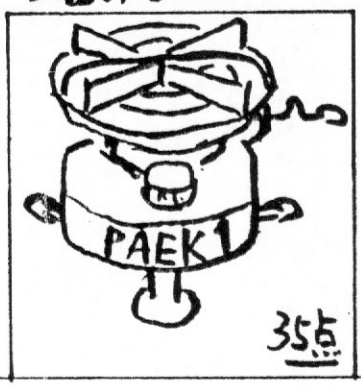
「原稿大募集のお知らせ」

良い子も悪い子も寺崎組もその予備軍も自分らしさを原稿で写真でマンガで、自分だけの表現でしてみませんか。



イラストコーナー!!

江戸川区にお住まいの鉄道おたくさんの作品



ストーブインプレッション

地下鉄がピーク1選んだ理由

何といっても使いやすさである。僕の場合、部屋で使うことを第一条件にしているので、いちいちプレヒートをしていられないのである。自慢じゃないが僕はガスを引いていない。そして今使っているものは赤ガスも大丈夫と書いてある奴である。前に使っていたピーク1は白ガス用であったが、赤ガスを使っても4年もったという信頼感もある。組長は何度もピーク1をつまらせているので親の敵のように思っているが、僕の使用状況を見張っているようである。使い初めてわかったのだが、燃費も良く普通の野宿では1回の給油で2日もつ。

SRC池袋店にて8千4百円（税別）